

高松市生涯学習センター 生涯学習推進事業 [企業等との連携事業 (まなび CAN・CSR 教室)]

「夏休み・親子手づくり乾電池教室」を開催しました

平成22年8月19日、東芝ホームアプライアンス(株)との共催事業による講座「夏休み・親子手づくり乾電池教室」を開催しました。



この講座は、東芝ホームアプライアンス(株)の協力をいただき、毎年実施している、キャンセル待ちがたくさんで人気のある教室です。今年は、10組の親子25人がこの講座に参加し、楽しく乾電池づくりに挑戦しました。

まずは、炭電池の実演をしていただきました。備長炭、アルミホイル、キッチンペーパー、食塩水など、身近なもので作った炭電池。電極をつないでモーターに付いたプロペラがまわると、子どもたちはびっくりしていました。

まずは、炭電池の実演をしていただきました。備長炭、アルミホイル、キッチンペーパー、食塩水など、身近な

次に、電池のしくみについてのビデオを鑑賞しました。電池の種類や用途、また、バイオ電池・海水電池など未来の電池についても学習することができました。

最後はいよいよ電池づくりです。二酸化マンガン(プラス極の材料)を亜鉛缶(マイナス極の材料)と混ぜて、キャップをとりつけ、ラベルを貼ると、自分でデザインしたオリジナルの乾電池ができあがり。豆電球につないで明かりがつくと、子どもたちからは歓声があがりました。



今回は、東芝ホームアプライアンスの方のご好意で、保護者もオリジナルの乾電池を作ることができました。「子どもと一緒に楽しめました。」と保護者も喜んでいました。

今回講師を務めてくださった兼城さんは「電池のプラスマイナスを逆にして使わない。電池や電池パックを分解しない。電池を火の中へ投げ入れないなど、安全で正しい使い方をしてくださいね。」と、受講した親子に呼びかけていました。